

1. 目的. 前報の毛髪の損傷実態調査に於いて、殆んど全ての人の毛髪表面に摩耗による損傷が認められた。そこで本報では、摩耗損傷の原因の1つと考えられる「ブラッシング」に於ける毛髪の損傷について検討した。

2. 方法. 0.5%ラウリル硫酸ナトリウム、及びエチルアルコールで洗淨後、充分すすいで乾燥した、長さ15cmのバージンヘアを3種のブラシでそれぞれブラッシングしたときの毛髪表面の損傷は、スンプ法により顕微鏡観察を行ない、又、ブラッシング時に発生する静電気量はシンクロスコープを、及び毛髪にかかる力はテンシロンを用いて、それぞれ測定した。

3. 結果. ブラシの材質、毛の硬さ、密度などの異なる代表的な獣毛、ナイロン、及びポリエチレンブラシの3種類を用いて毛髪をブラッシングした場合、毛髪表面の損傷は、獣毛、及びナイロンブラシが大きく、ポリエチレンブラシが小さかった。

又、ブラッシング時に発生する静電気量は、ポリエチレンブラシが最も大きく、獣毛ブラシが最も小さかった。更に、毛髪にかかる力では、獣毛ブラシが最も大きく、ポリエチレンブラシが最も小さかった。

これらの結果より、ブラッシングに於ける毛髪表面の損傷は、毛髪へかかる力の大きいブラシ程大きく、これは、ブラシの材質、毛の硬さ、及び密度などのブラシの構造によるものであり、毛髪の損傷からは、密度の粗いポリエチレンブラシでブラッシングするのが良いと考えられる。